

おかあさんへ

「四十一歳。」

わたしのおかあさんは今年で、四十一歳だ。わたしが今年で「十四歳。」

十四歳になって、気づいた事がある。

おかあさんは、

「しらが」が増えた。

おかあさんは、

前より、少し太ったみたいだ。

おかあさんは、

「しわ」も「しみ」もできていて

おかあさんは、

みんなのお母さんより

おけしやうが似あわない。

わたしは、

おかあさんの背をおいこした。

だからなのか、

おかあさんが、とつても

ちつちやく見える。

どんどん、時間は

「おかあさん」を

「おばあちゃん」に変えていくんだろう。

また、時間はたつて

おかあさんを

わたしの手の届かない

とおい、とおいところへ

つれていつてしまうのかなあ。

「ありがとう」も、

「だいすき」も。

おかあさんにもらつた十四年間ぶん、

返して、ないよね。

まだ、ぜんぜん

伝えてないから、

いまから、頑張つてみようかな。

世界で一番、わたしの事を思ってくれる

おかあさんのもとへ。

今すぐ、

伝えにゆこうか。